



平成30年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年3月8日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成30年3月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第1四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第1四半期	8,635	0.3	99	9.1	81	15.3	19	62.2
29年10月期第1四半期	8,612	2.9	109	62.4	96	64.1	52	70.7

(注) 包括利益 30年10月期第1四半期 20百万円 (73.3%) 29年10月期第1四半期 64百万円 (61.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第1四半期	1.63	1.63
29年10月期第1四半期	4.32	4.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年10月期第1四半期	24,254	4,541	18.6	373.17
29年10月期	24,213	4,611	18.9	379.07

(参考) 自己資本 30年10月期第1四半期 4,509百万円 29年10月期 4,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期		7.50		7.50	15.00
30年10月期					
30年10月期(予想)		7.50		7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,100	4.3	250	34.4	240	33.5	150	34.4	12.41
通期	33,000	5.6	430	39.6	380	47.5	240		18.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年10月期1Q	12,688,000 株	29年10月期	12,688,000 株
期末自己株式数	30年10月期1Q	603,482 株	29年10月期	603,482 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年10月期1Q	12,084,518 株	29年10月期1Q	12,084,518 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度第1四半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に穏やかな回復基調にあるものの、個人消費は停滞が続いており、先行きは不透明な状況が続いております。

当小売業界におきましても、消費者の節制志向は引き続き根強く、価格競争の激化に繋がっております。また、人手不足による人件費の高騰などの要因もあり、厳しい経営環境で推移しました。こうした状況の中、当社グループの第1四半期は新店舗の出店で幕を開けました。平成29年11月23日、宮城県仙台市に「蔦屋書店アクロスプラザ富沢西店」を出店いたしました。宮城県への出店は蔦屋書店仙台泉店に続き2店舗目であり、これによりグループ店舗数は75店舗となりました。

このように、当社グループでは、大型複合店舗の広い売場に、書籍に映画、音楽、ゲーム、カフェといった「日常的エンターテインメント」を集約し、眺めるだけでも楽しく、再来店したくなる売場作りを目指しております。また、書籍をきっかけとした新たなライフスタイルづくりをお手伝いする多彩な商品を取り揃え、広い世代のお客様にお買物を楽しんでいただくためのご提案を続けてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,635百万円（前年同期比100.3%）、営業利益99百万円（前年同期比90.9%）、経常利益81百万円（前年同期比84.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円（前年同期比37.8%）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、人気タイトルに恵まれた音楽CD、ゲーム・リサイクルの販売が好調だったことに加え、新店・改装店がけん引する形で特撰雑貨・文具も売上を伸ばしました。その一方で、前年度から引き続きレンタル部門が苦戦しており、当社グループの主軸である蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は100.1%（既存店97.1%）にとどまりました。

利益面につきましては、連結売上高前年同期比100.3%と前年度と同率を維持したものの、販管費率が0.5ポイント増加したため、営業利益は前年度比9.1%減少し99百万円に、経常利益は前年比15.3%減少し81百万円となりました。さらに、法人税等が前年度比43.3%増加した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比62.2%の減少となりました。セグメントの状況は、次のとおりです。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,388百万円（前年同期比100.1%）、セグメント利益は83百万円（前年同期比98.9%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍96.4%（既存店93.8%）、特撰雑貨・文具104.6%（既存店97.9%）、レンタル91.6%（既存店90.4%）、ゲーム・リサイクル120.2%（既存店116.6%）、販売用CD104.0%（既存店101.5%）、販売用DVD92.1%（既存店90.0%）となりました。

②その他

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高248百万円（前年同期比104.9%）、セグメント損失は2百万円（前年同期比224.7%）となりました。

当セグメントの内、中古買取販売事業は売上高前年同期比106.3%、スポーツ関連事業等は売上高前年同期比100.1%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比41百万円増加し、24,254百万円となりました。これは主に現金預金の減少により流動資産が249百万円減少した一方、新規店舗の出店に伴い固定資産が290百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比111百万円増加し、19,713百万円となりました。これは主に買掛金が527百万円、リース債務が207百万円、それぞれ増加した一方、一年内返済借入を含む長期借入金が453百万円、未払金が162百万円、それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比70百万円減少し、4,541百万円となりました。これは主に、剰余金の配当90百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は減収、減益となりましたが、今後新店、改装効果などが見込まれることや、既存店の更なる品揃えを強化すること、及び、仕入原価、販管費の見直しを図ることで、概ね計画通りに推移するものと見込み、平成29年12月7日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,169,271	1,555,743
売掛金	242,635	253,705
商品	8,078,636	8,762,410
前払費用	296,509	300,360
繰延税金資産	52,167	20,547
未収入金	494,142	191,435
その他	44,168	43,631
貸倒引当金	△405	△409
流動資産合計	11,377,126	11,127,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,970,426	2,058,729
土地	1,423,759	1,423,759
リース資産(純額)	4,909,514	5,186,354
その他(純額)	251,057	278,662
有形固定資産合計	8,554,758	8,947,506
無形固定資産		
その他	64,138	62,108
無形固定資産合計	64,138	62,108
投資その他の資産		
繰延税金資産	363,428	339,576
敷金及び保証金	3,328,140	3,269,823
その他	525,883	508,041
投資その他の資産合計	4,217,452	4,117,441
固定資産合計	12,836,349	13,127,057
資産合計	24,213,476	24,254,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,226,928	3,754,652
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,782,604	1,748,145
リース債務	1,796,586	1,734,672
未払法人税等	81,941	32,105
賞与引当金	65,000	32,000
未払金	684,219	521,696
その他	266,625	306,389
流動負債合計	9,303,904	9,529,661
固定負債		
長期借入金	4,561,560	4,142,042
リース債務	4,893,971	5,163,158
資産除去債務	496,792	503,434
退職給付に係る負債	77,566	76,531
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期未払金	129,135	127,826
長期預り敷金保証金	74,418	105,299
その他	1,332	2,322
固定負債合計	10,297,718	10,183,555
負債合計	19,601,622	19,713,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	539,784	468,871
自己株式	△270,028	△270,028
株主資本合計	4,580,817	4,509,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	△370
その他の包括利益累計額合計	56	△370
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	22,730	23,481
純資産合計	4,611,853	4,541,265
負債純資産合計	24,213,476	24,254,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
売上高	8,612,092	8,635,910
売上原価	6,001,672	6,022,331
売上総利益	2,610,420	2,613,579
販売費及び一般管理費	2,501,233	2,514,383
営業利益	109,186	99,195
営業外収益		
受取利息	5,739	5,113
協賛金収入	7,610	5,818
原子力立地給付金	5,436	5,931
その他	6,386	3,401
営業外収益合計	25,172	20,264
営業外費用		
支払利息	38,304	38,107
営業外費用合計	38,304	38,107
経常利益	96,054	81,353
税金等調整前四半期純利益	96,054	81,353
法人税、住民税及び事業税	8,249	5,221
法人税等調整額	34,223	55,659
法人税等合計	42,472	60,881
四半期純利益	53,581	20,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,373	751
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,208	19,720

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	53,581	20,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,861	△426
その他の包括利益合計	10,861	△426
四半期包括利益	64,443	20,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,069	19,294
非支配株主に係る四半期包括利益	1,373	751

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年12月8日 取締役会	普通株式	90,633	7.5	平成28年10月31日	平成28年12月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年12月7日 取締役会	普通株式	90,633	7.5	平成29年10月31日	平成29年12月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,376,532	235,559	8,612,092	—	8,612,092
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,019	1,019	△1,019	—
計	8,376,532	236,579	8,613,111	△1,019	8,612,092
セグメント利益又は損失(△)	84,099	△1,303	82,796	26,389	109,186

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業、スポーツ関連事業及び店舗設備の維持管理等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,388,700	247,210	8,635,910	—	8,635,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	972	972	△972	—
計	8,388,700	248,182	8,636,883	△972	8,635,910
セグメント利益又は損失(△)	83,209	△2,928	80,280	18,915	99,195

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業、スポーツ関連事業及び店舗設備の維持管理等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	4,399,285	51.1	4,238,919	49.1	96.4
	特撰雑貨・文具	1,161,176	13.5	1,214,464	14.1	104.6
	レンタル	1,155,772	13.4	1,059,031	12.3	91.6
	ゲーム・リサイクル	468,601	5.4	563,488	6.5	120.2
	販売用CD	488,707	5.7	508,417	5.9	104.0
	販売用DVD	281,838	3.3	259,531	3.0	92.1
	その他	421,149	4.9	544,847	6.3	129.4
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	8,376,532	97.3	8,388,700	97.2	100.1
その他	外部顧客に対する売上高	235,559	2.7	247,210	2.8	104.9
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,019	0.0	972	0.0	95.4
	計	236,579	2.7	248,182	2.8	104.9
合計		8,613,111	100.0	8,636,883	100.0	100.3

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード、賃貸不動産収入他です。